

子ども会って？

香取市子ども会育成連合会

○子ども会の目的

「学校や家庭だけでは体験できない様々な活動を通じて、自主性・創造性など子どもたちが将来、たくましく生きていくために必要な、心と体の能力を身につけていくこと」です。この目的を実現するための活動が「遊び」であり、子ども会活動の中心となります。遊びが活動の中心ということに、子ども会の重要な意義と必要性があります。

子どもにとって「遊び」は大切

昔から「よく学び、よく遊べ」といわれるように、遊びは子どもにとって勉強と同じくらい大切なものと考えられてきました。子どもたちは「遊び」を通して多くの能力を育んでいきます。

※ここでいう「遊び」は、テレビゲーム、携帯型ゲーム等のひとりで遊ぶことのできるものではなく、下記に挙げているような状態の「遊び」を指します。香取市子ども会育成連合会では、このような子どもたちの「遊び」を奨励します。

○今、期待されている「遊び」の状態

- ◇同じ年齢の子どもたちだけでなく、異なる年齢の子どもたちとも遊んでいること。
- ◇一人二人の少人数ではなく、集団で遊んでいること。
- ◇家の中でなく、外で体を動かす活動が多いこと。
- ◇ある程度、長い時間遊んでいること。
- ◇大人が関わらず、自発的に遊んでいること。
- ◇時には、遊びの中で軽いケンカやトラブルもみられること。

○「遊び」の効果

◇社会性が育まれます。

他の人と一緒に遊び、子ども同士の心と心のぶつかり合いの中で、自分だけでなく他人の尊厳をも認めることができるようになります。そして、人と人との関わりをスムーズにするための協調性や思いやりの心、責任感、社会的なルールを守ること、リーダーシップなど様々な社会的能力が育まれます。

◇体力、運動能力、器用さを養います。

友だちと走り回ったり、取っ組み合ったり、木に登ったり、道具を使って何かを作ったりするという活動を通して、生きていくうえで基礎となる体力、運動能力、器用さが養われます。

◇**生きた知識、生活の知恵を身に付けます。**

子どもの遊びには、川での魚とりや昆虫採集などの様々な自然を利用した活動があります。この中で、多くのことを五感を通して実際に体験し、生きた知識を身につけます。

「遊び」を学ぶ、子ども会活動

○**子ども会の大きな特徴**

◇ある一定の地域（自治会や町内会）に住み、遊び仲間を基礎として組織する異年齢の集団。

◇親や地域の人々（育成者）も子どもと一緒に交流ができる集団。

○**なぜ、子ども会が必要なのでしょう？**

子どもたちが、子どもらしくイキイキとしている、本当の意味での健やかな状態とは、よく食べ・よく寝て・よく遊ぶことが大切だと言われています。

しかし、最近は子どもたちが走り回って遊んでいる姿を見かけることが少なくなったように思われます。子どもたちにとって楽しい時間であるはずの「遊び」が減ってきているとすれば、子どもたちの成長にとって大きな影響があることは否定できません。こうした状況から、今、子どもたちの「遊び」をはじめとして、生活体験、自然体験など様々な体験活動の重要性が改めて強調されるようになり、子ども会は、これらの体験の場として期待されています。

また、大人においても地域行事への参加が減少し、近所づきあいが希薄になってきています。大人（育成者）も一緒になって交流できる子ども会は、よりよい地域コミュニティの形成にも必要といえます。

◆**異年齢集団で活動する場としての子ども会**

地域社会では、もともといろいろな年齢の子どもたちが誘い合って遊ぶ集団がありました。しかし、今ではその姿もほとんど見られません。自分とは異なる年齢の子どもたちとの交わりの中で、同年齢の集団では得ることのできない協調性や責任感、がまん強さ、他人への思いやりなど子ども会で身につけることができます。

○**理想の子ども会活動**

名のとおり、子ども会は、子どもの手による運営が望ましいのですが、まだまだ、大人中心運営の子ども会が多いようです。なるべく主役である子どもが企画し、運営（例 受付係や司会、レク係など）できるような活動を展開しましょう。大人は、サポート役です。上級生がリーダーシップをとり運営できるようになると、子ども会の目的は達成することでしょう！

○**子ども会に関する問い合わせ先**

香取市子ども会育成連合会事務局（香取市教育委員会生涯学習課内）

電話 0478-50-1224